

## ◇巡検の記録◇

### 勝沼・一宮巡検（10月2日～4日）

10月2日～4日、2泊3日の勝沼・一宮巡検が行われた。今回の巡検の目的は、「甲府盆地東部果樹栽培地域の産業と生活を自然とのかかわりで考える。」ということであった。私たち1年生にとっては夏休み前に行われた多摩巡検に続いて2度めの巡検である。当日は午前11時に国鉄中央線勝沼駅前に集合ということになった。多摩巡検の時とは違い初めての現地集合ということで(?)5人という大量の遅刻者もでたが、(約1時間の遅刻。)1年20人プラス院生の方1人からなる巡検メンバー全員無事にそろい、井内先生の指導のもと巡検がスタート。

2日(木)。今回の宿舎となったぶどうの丘センターから徒歩でマンズワインの勝沼工場へ行き、ぶどう作り・ワイン作りについてのヒアリングと工場内見学。その後、宿舎に戻り、勝沼町役場職員からの勝沼町概況についてのヒアリング。

3日(金)。京戸川扇状地、金川、かすみ堤、甲斐国分寺、同国分尼寺跡を主に徒歩でまわる。一宮町役場での一宮町概況についてのヒアリング。

4日(土)。南野呂の部落の組合長宅でのヒアリング。個人経営のワイン工場「甲州園」見学。

以上で3日間の予定はすべて終了し、現地解散となった。

これまでの巡検で知ったことは、修学旅行と巡検は大変よく似ているが大変違うものだという事である。少しでも事前にその土地を調べて訪れると、ばく然と見るだけというよりはるかに得るものは大きいということがわかった。今後の巡検ではよりいっそうの事前調査の充実が望まれる。

#### ☆こぼれ話

- その1. 全員一致で、井内先生の意をくみ3日の夜、会食を行う。メニューはすきやき。
- その2. ぶどうぜめにあうかと半分期待していたぶどうの丘センターにぶどうは一粒もなし。
- その3. 「歩け歩け巡検」を合言葉に今回の巡検ははじまったが3日めにしてダウン。タクシー登場。

(井内先生指導 1年 江見由香里)

### 五日市巡検（11月30日）

二年生にとっての重要課題、〈地形〉を考えるべく、「関東平野の盆地」というテーマに取り組むことになった。手初めとして、11月30日、五日市巡検を行った。メイン巡検として、3月には、柿岡盆地を含む筑波巡検を予定している。一年の巡検でも雨にたたられ、五日市巡検でも、雨のため11月29日の予定が30日に順延となった私たち。3月は、天候に恵まれるよう、祈るような気持ちである。